

職場に新入社員がやってくる季節。今、「叱られたい」という願望を抱く若者が増えているらしい。最近の若者は打たれ弱いともいわれられてきた。叱られたいという心理は何なのか。一方で、間違っていた叱り方はパワハラになりかねない。いまどきの「叱られる」「叱る」関係を探った。

(沢田千秋、篠ヶ瀬祐司)

# 叱られたいが増殖中?



「熱く叱ってくれたら、私のことを考えてくれるという思いになり、逆にポジティブになれる」。番組制作会社の新入社員の女性(仮)は、こう話す。

「自分たちの年代は緩く育てられてきたように思う。学校の先生も冷めてて

# 新人若手社員... 思ったてくれてる

あまり怒らなかつた。「昭和な先生」に憧れるという。「昭和な先生って、厳しいけど、生徒を大事にしているイメージがあって温かい感じがする」就職活動中の大学院生、村山淳さん(26)は「どちらかと言えば叱られたくないけど」としつつ、いまどきの若者をこう説明する。「僕らの世代は無視や孤独に対する恐怖症に陥っている。(無料通信アプリ)ラインの『既読スルー』で人間関係が険悪になるのも、大学の個室トイレで昼飯を食べるのも、

就活生のための吉木りさに怒られたい

3月4日(水)・5日(木)深夜1時30分放送、3月6日(金)深夜1時30分放送【放送は終了しました】

Tweet (870) (1092) 180 8+1

就活生のための吉木りさに怒られたい

- 番組内容: DVD後発売中!!
- 番組情報: 予告動画
- 就活生のための吉木りさに怒られたい
- 吉木りさに怒られたい Season2
- スペシャル

テレビ東京で放送された「吉木りさに怒られたい」は、タレントの吉木りささんに怒られるだけの番組。深夜放送ながら異例のヒットを記録しシリーズ化された公式ホームページから

無視や孤独を極端に恐れるから」。そんな中で「誰かに叱られるのは、少なくとも相手の視界に入っていることだから、その状態を望む気持ちは分かる」と理解を示す。

今春、商社に就職した守山裕大さん(28)は「叱られることで、自分を見てもらっていると思えて承認欲求が満たされる。それに、まだ自分に改善の余地があった見捨てられていないんだなとも思えてくる」と受け止める。

入社後、まだ叱られてはいないという。「会社に体育会系の怖そうな先輩がいる。一度がっつり怒られたら、社会の大変さを意識できて目を覚ませそう」と、半ば叱られることに期待している。

「黙れ ポンコツ野郎」「このタコ」「ボケ」。タレントの吉木りささんが、いろんなタイプの男性に怒りまくるテレビ番組「吉木りさに怒られたい」(テレビ東京)が人気だ。千葉県浦安市は今年七月に市民向けセミナーとして「大人の褒め方、褒められ方、叱り方、叱られ方」を企画している。他のセミナーを上回る応募があるという。

「叱られる」のキーワードは出版業界にも。タレント阿川佐和子さんの「叱られる力」(文春新書)は「言い訳は進歩の敵」と説き、ベストセラーに。中谷彰宏さんの「叱られる勇氣」成長させてくれた30の言葉」(PHP研究所)は「叱ってもらうのは、ほめてもらうより、愛されてもらうほうがいい」。

叱り方、叱られ方を学ぶセミナーも人気だ。千葉県浦安市は今年七月に市民向けセミナーとして「大人の褒め方、褒められ方、叱り方、叱られ方」を企画している。他のセミナーを上回る応募があるという。

# 「答えがほしい」

若者は、なぜ「叱られたい」と願うのか。千葉商科大の常規陽平専任講師(人材マネジメント論)は「成長したいという向上心のある人、大企業でまじめにやっている人や、そうなるようとしている若者に『叱られたい』傾向を感じる。本当のことを言ってくれた、成長のきっかけをもらったと受け止めている」と分析する。

常見氏が「叱られたい」という若者に触れるようになったのは、企業の人事部門に勤務していた二〇〇〇年代半ばごろから。他社の採用担当者との間でも話題になったという。

「世の中の大人が叱らなくなってきたことが理由の一つだ」と話す。「学校では体罰が、企業ではパワハラが問題になり、家庭でも友達のような親子が増えた」。そういう関係の中では、本気で耳の痛いことを言ってくれる人がいなくなっている。

## 耳の痛い助言 希薄な昨今...



## 信頼築くのが先

叱る側は「みません」とさわやかに謝ればよい。人格まで否定されたと思ひ込み、落ち込み過ぎたり、グジグジすねたり、逆ギレしたりするのは自分の成長を妨げる」とアドバイスする。

「叱られたい」願望の若者に対しては、厳しい見方もある。

秋田県立大の総合科学教育研究センターの渡部昌平准教授(キャリア教育)は「叱られたいというよりも、不安を解消してほしい、答えを教えてほしい、

「つまずきだと断言してもらいたいと考えているのではないかとみる。」「授業で、自身の未来のために何をすべきかを探してもらおうとしても、就職のテクニックを教えてほしい」といふ学生が目立つ。

本当の正解は自分の中にしかないのに、考えることをせずに『どこかにある正解』を外に求めているように感じる。

こんな調査結果もある。財団法人「日本生産性本部」が二〇一三年六月〜一四年三月にかけて、課長職約四百二十人、一般社員約千五百人を調査した。課長の九割近くが「部下を叱ることには育成につながる」と考えている一方、一般社員の六割が「上司から叱られるとやる気を失う」と答えている。

帝京平成大の渡部卓教授(組織ストレス心理学)は、叱り方には注意が必要だという。「上司に叱られることで心が折れてしまったり退職したり、パワハラに感じる人がいることも確かだ」と話す。

提案するのは「かりてきたね」の叱り方だ。「感情的にならない。理由を話す。手短かに。キャラクター(人格)に触れない。他人と比較しない。根に持たない。個別に叱る。この七原則の頭文字をとって名付けた。

叱るだけでなく「傾聴」も大事だという。「若者は話を聞いてもらいたいと思っている。上司が部下の話に傾聴することで信頼が得られる。部下も上司の話に耳を傾けた後、教えるを請う

「新人類世代」といわれた。「バブル入社世代」「ゆとり世代」。かつては「戦中派」「全共闘世代」なんてのもあった。十把ひとからげに、いろいろ名付けられるけど、実際は人それぞれ。「叱り」「叱られ」もいつの時代にもあった。結局は、世代ではなくコミュニケーションの問題なのだろう。(国)

浦安市のセミナーの講師を務める経営コンサルタントの菅原斎氏は「自分の軽率な行動を叱られたら『す

「叱られたい」願望の若者

「叱られたい」願望の若者